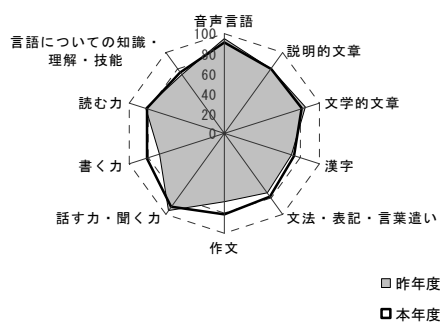


2年 国語

宇都宮市立瑞穂野中学校

1 結果

(1) 領域別・観点別平均正答率（平成19年度と18年度の状況）

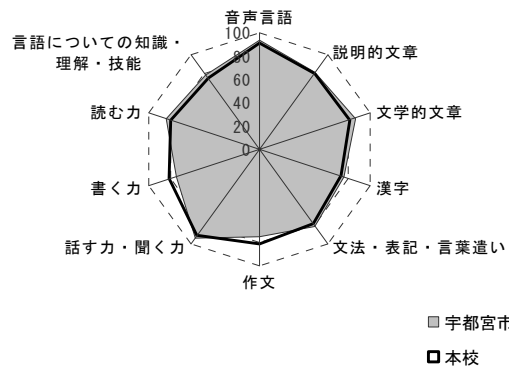


■平均正答率

		本校	
		本年度	昨年度
領域別	音声言語	91.2	95.5
	説明的文章	79.6	80.2
	文学的文章	81.5	84.8
	漢字	73.1	70.7
	文法・表記・言葉遣い	79.0	73.9
	作文	81.5	69.0
観点別	話す力・聞く力	91.2	95.5
	書く力	81.5	69.0
	読む力	80.6	82.5
	言語についての知識・理解・技能	75.1	71.8

受検人数	本年度	昨年度
	54 人	83 人

(2) 領域別・観点別平均正答率（宇都宮市と本校の状況）



■平均正答率

		宇都宮市	本校
領域別	音声言語	93.6	91.2
	説明的文章	81.6	79.6
	文学的文章	86.2	81.5
	漢字	76.7	73.1
	文法・表記・言葉遣い	81.4	79.0
	作文	75.0	81.5
観点別	話す力・聞く力	93.6	91.2
	書く力	75.0	81.5
	読む力	83.9	80.6
	言語についての知識・理解・技能	78.2	75.1

受検人数	宇都宮市	本校
	3977 人	54 人

平均正答率の状況から、本校としては昨年度から比べると全体的に伸びているが、市と比べると下回っている領域があるので、今後特に「文学的文章」の領域と「読む力」の観点において指導の工夫・改善を図っていきます。

2 指導の工夫・改善

領 域	平成19年度の状況	今後の指導の重点
音声言語	昨年度は95.5%で、本年度の方が若干下回っている。スピーチの内容を正しく聞き取るだけでなく、発表者の主張の意図や根拠を的確にとらえている。	正しく聞き取るだけでなく、意図をつかんだり聞き取った意見を総合してまとめさせたりする力もつけさせていきたい。
説明的文章	昨年度は80.2%で、本年度の方が若干下回っている。特に、段落の構成や展開をとらえる力が不足している。	教科書の文章の他に説明的文章を読む機会を増やし、段落の構成を考えたりや要点をまとめたりする学習に力を入れていきたい。
文学的文章	昨年度は84.8%で、本年度はそれに比べやや下回っている。 特に登場人物の心情をとらえたり、行動の意味するところを考える力が不足している。	読書の時間を大切にするとともに、教科書の文章の他に文学的文章を読む機会を増やし、登場人物の心情を考える学習に力を入れていきたい。
漢字	昨年度は70.7%で本年度の方が若干上回っている。ただ、漢字の読みの問題についてはほぼ100%に近い正答率だが、書きの問題はそれに比べて5割程度しか正答していない。	これからも漢字ノートの活用を続けると共に、漢字の小テストなどを取り入れ、特に漢字の書き取りに力を入れたい。
文法・表記・言葉遣い	昨年度は73.9%で、本年度の方が大幅に上回っている。特に「対義語」の問題は正答率が高かった。	生徒が購入している便覧を活用し、自作の問題や小テストに取り組ませたい。
作文	昨年度は69.0%で、本年度は若干下回っている。特に「無回答」の割合が高く、はじめから作文の課題に取り組む意欲に欠けている生徒が多く	学校行事などで文章を書く機会を増やし、書くことに慣れさせていく。また、国語の授業では、体験文や意見文などのまとまった長文を書くだけでなく、比喩表現や

	見られる。	慣用句を生かした短文を書く機会を増やしていく。さらに、友人同士交流をさせることによって、多面的な見方で題材をとらえたり文章の善し悪しを考えたりさせたい。
--	-------	--